

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 北海道財務局長

【提出日】 2020年8月13日

【四半期会計期間】 第20期第2四半期(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

【会社名】 JIG-SAW株式会社

【英訳名】 JIG-SAW INC.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 山川 真考

【本店の所在の場所】 北海道札幌市北区北八条西三丁目32番  
(上記は登記上の本店所在地であり、実際の管理業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。)

【電話番号】

【事務連絡者氏名】

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区大手町一丁目9番2号

【電話番号】 03-6262-5160

【事務連絡者氏名】 取締役 鈴木 博道

【縦覧に供する場所】 JIG-SAW株式会社 東京本社  
(東京都千代田区大手町一丁目9番2号)  
  
株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第19期 第2四半期 連結累計期間	第20期 第2四半期 連結累計期間	第19期
会計期間		自 2019年1月1日 至 2019年6月30日	自 2020年1月1日 至 2020年6月30日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高	(千円)	863,961	1,033,834	1,797,801
経常利益	(千円)	283,389	272,987	617,714
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	192,028	184,310	446,110
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	168,116	11,073	147,969
純資産額	(千円)	1,647,457	1,443,494	1,446,567
総資産額	(千円)	2,211,101	2,030,704	2,200,215
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	29.28	28.10	68.00
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	28.35	27.43	65.96
自己資本比率	(%)	74.5	71.1	65.7
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	109,358	133,080	177,478
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	58,104	4,641	43,685
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	184,801	30,747	92,873
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	957,430	950,439	1,105,226

回次		第19期 第2四半期 連結会計期間	第20期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2020年4月1日 至 2020年6月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	14.57	11.54

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等の関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。なお、新型コロナウイルスの感染拡大による事業への影響については、今後も注視してまいります。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、現実世界・サイバー空間が高度に融合し、全ての人やモノがつながるIoT等、デジタル経済の進化の先にあるSociety5.0（経済発展と社会的課題の解決を両立する社会）へ向かっています（出典：総務省「令和元年版 情報通信白書」）。このような環境のなかで当社グループは、IoT、IIoT分野に加え「生物・細胞」がインターネットとつながるIoE（Internet of Everything）の世界を見据えた取り組みを、国内だけではなく北米地域も含め継続して進めております。

当社マネジメントサービス事業の売上は、安定した完全サブスクリプションモデル（完全ストック型ビジネス）の継続課金売上と一時的なスポット売上で構成されています。当第2四半期連結累計期間においても、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けることなく、引き続き解約率の低い月額課金案件の受注獲得を推し進めており、前年同期と比較して月額課金売上は159,935千円純増し、上場以来22四半期連続で過去最高の月額課金売上のプラス成長となり極めて堅調に推移しております。

IoT分野においては、大手クラウドプラットフォームとの統合を通じてグローバルなエンタープライズ顧客への提供を可能にし、IoTエンジン「neqto:」は、産業機器、オフィス機器、製造装置など世界中のあらゆるサービスとの連携と内蔵・搭載するための具体的な取り組みが進んでおります。引き続き、高いレベルの事業成長に向け研究開発費・販売促進費・人件費・グローバル展開のための先行投資を前年同期と比較して約192,000千円増加させております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,033,834千円（前年同期比19.7%増）、営業利益133,405千円（前年同期比26.6%減）、経常利益272,987千円（前年同期比3.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益184,310千円（前年同期比4.0%減）となりました。

なお、当社グループはマネジメントサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

#### (2) 財政状態の分析

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、1,398,681千円（前連結会計年度末比68,818千円減）となりました。これは主に、売掛金が増加（前連結会計年度末比75,510千円増）した一方で、現金及び預金が増減（前連結会計年度末比154,787千円減）したことによるものであります。

また、固定資産は、632,022千円（前連結会計年度末比100,692千円減）となりました。これは主に、有形固定資産が増加（前連結会計年度末比106,033千円増）、投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が増加（前連結会計年度末比57,890千円増）した一方で、投資有価証券が減少（前連結会計年度末比267,966千円減）したことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は、2,030,704千円となり、前連結会計年度末に比べ169,511千円減少いたしました。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、380,932千円（前連結会計年度末比109,877千円減）となりました。これは主に、未払法人税等が減少（前連結会計年度末比77,286千円減）したことによるものであります。

また、固定負債は、206,277千円（前連結会計年度末比56,560千円減）となりました。これは主に、長期借入金が増減（前連結会計年度末比38,018千円減）したことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における負債は、587,210千円となり、前連結会計年度末に比べ

166,438千円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、1,443,494千円（前連結会計年度末比3,073千円減）となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加（前連結会計年度末比184,310千円増）した一方で、その他有価証券評価差額金が減少（前連結会計年度末比188,450千円減）したことによるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、950,439千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動により支出した資金は、133,080千円（前年同期は109,358千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益261,522千円の計上により資金が増加した一方で、投資有価証券売却益134,238千円、売上債権の増加額75,510千円、法人税等の支払額147,425千円により資金が減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動により獲得した資金は、4,641千円（前年同期は58,104千円の獲得）となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入129,074千円により資金が増加した一方で、有形固定資産の取得による支出120,957千円により資金が減少したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動により支出した資金は、30,747千円（前年同期は184,801千円の支出）となりました。これは主に、長期借入金返済による支出37,998千円により資金が減少したことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、79,993千円であります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,000,000
計	25,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (2020年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2020年8月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,746,000	6,749,000	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株式数は100株 であります。
計	6,746,000	6,749,000		

(注) 提出日現在の発行数には、2020年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権(ストック・オプション)の権利行使により発行されたものは含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年4月1日～ 2020年6月30日	31,000	6,746,000	3,875	350,482	3,875	327,412

(注) 新株予約権の行使による増加であります。

## (5) 【大株主の状況】

2020年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
UNION BANCAIRE PRIVEE (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	RUE DU RHONE 96-98 1211 GENEVA 1 (東京都千代田区丸の内2丁目7番1号)	1,098,000	16.68
山川 真考	東京都港区	925,000	14.05
DEUTSCHE BANK AG, SINGAPORE A/C CLIENTS (TREATY) (常任代理人 株式会社みずほ銀行)	ONE RAFFLES QUAY, 16TH FLOOR, SOUTH TOWER, SINGAPORE 048583 (東京都港区港南2丁目15番1号)	451,000	6.85
斉藤 誠	東京都港区	363,600	5.52
株式会社SBI証券	東京都港区六本木1丁目6番1号	236,400	3.59
楽天証券株式会社	東京都港区南青山2丁目6番21号	167,700	2.55
CBHK S/A PBG CLIENTS SG (常任代理人 シティバンク、エヌ・エ イ)	300 TAMPINES AVE 5, #07-00, TAMPINES JUNCTION SINGAPORE 529653 (東京都新宿区新宿6丁目27番30号)	160,000	2.43
前田 英仁	岩手県宮古市	131,000	1.99
NOMURA SINGAPORE LIMITED CUSTOMER SEGREGATED A/C FJ-1309 (常任代理人 野村證券株式会社)	10 MARINA BOULEVARD MARINA BAY FINANCIAL CENTRE TOWER2 #36-01 SINGAPORE 018983 (東京都中央区日本橋1丁目9番1号)	121,700	1.85
サンエイト1号投資事業有限責任組合	東京都港区虎ノ門1丁目15番7号	118,000	1.79
計		3,772,400	57.29

(注) 大株主であるJun Emi氏は海外居住者であるため、同氏の所有する当社株式は「UNION BANCAIRE PRIVEE」に含まれております。同氏の所有株式は上場時と変動なく、同氏は引き続き長期安定株主として株式売却の予定は無く、所有株式においては主要株主であり代表取締役社長の山川真考と同様に一切の貸株もしておらず、今後もその予定はございません。

## (6) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 161,600		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,574,800	65,748	単元株式数は100株であります。
単元未満株式	普通株式 9,600		
発行済株式総数	6,746,000		
総株主の議決権		65,748	

## 【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
JIG-SAW株式会社	北海道札幌市北区北 八条西3丁目32番	161,600		161,600	2.40
計		161,600		161,600	2.40

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。



## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,105,226	950,439
売掛金	282,880	358,390
その他	79,421	89,887
貸倒引当金	28	35
流動資産合計	1,467,499	1,398,681
固定資産		
有形固定資産	136,404	242,437
無形固定資産	37,933	38,394
投資その他の資産		
投資有価証券	368,521	100,554
敷金及び保証金	180,151	177,879
その他	10,244	73,296
貸倒引当金	540	540
投資その他の資産合計	558,377	351,190
固定資産合計	732,715	632,022
資産合計	2,200,215	2,030,704
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	109,511	107,002
1年内返済予定の長期借入金	75,996	76,016
未払法人税等	158,565	81,279
その他	146,736	116,633
流動負債合計	490,809	380,932
固定負債		
長期借入金	233,018	195,000
資産除去債務	583	549
その他	29,237	10,728
固定負債合計	262,838	206,277
負債合計	753,648	587,210
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	346,482	350,482
資本剰余金	305,955	309,955
利益剰余金	1,325,238	1,509,549
自己株式	718,458	718,458
株主資本合計	1,259,219	1,451,529
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	187,892	557
為替換算調整勘定	547	7,480
その他の包括利益累計額合計	187,345	8,037
新株予約権	2	2
純資産合計	1,446,567	1,443,494
負債純資産合計	2,200,215	2,030,704

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
売上高	863,961	1,033,834
売上原価	223,652	291,665
売上総利益	640,308	742,168
販売費及び一般管理費	458,448	608,763
営業利益	181,860	133,405
営業外収益		
受取利息	25	20
為替差益		887
投資有価証券売却益	105,127	134,238
その他	614	4,926
営業外収益合計	105,768	140,072
営業外費用		
支払利息	55	256
為替差損	3,220	
自己株式取得費用	943	
その他	19	233
営業外費用合計	4,238	490
経常利益	283,389	272,987
特別損失		
解約手数料		11,464
特別損失合計		11,464
税金等調整前四半期純利益	283,389	261,522
法人税、住民税及び事業税	91,971	71,584
法人税等調整額	611	5,628
法人税等合計	91,360	77,212
四半期純利益	192,028	184,310
親会社株主に帰属する四半期純利益	192,028	184,310

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益	192,028	184,310
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,024	188,450
為替換算調整勘定	3,887	6,933
その他の包括利益合計	23,911	195,383
四半期包括利益	168,116	11,073
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	168,116	11,073
非支配株主に係る四半期包括利益		

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	283,389	261,522
減価償却費	19,694	21,948
貸倒引当金の増減額(は減少)	23	7
受取利息及び受取配当金	25	360
支払利息	55	256
自己株式取得費用	943	
投資有価証券売却損益(は益)	105,127	134,238
売上債権の増減額(は増加)	32,722	75,510
仕入債務の増減額(は減少)	15,832	2,508
その他	20,207	61,157
小計	202,222	9,959
利息及び配当金の受取額	25	72
助成金の受取額	593	4,569
利息の支払額	55	256
法人税等の支払額	93,426	147,425
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>109,358</b>	<b>133,080</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	17,847	120,957
投資有価証券の取得による支出	17,087	
投資有価証券の売却による収入	106,994	129,074
その他	13,954	3,475
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>58,104</b>	<b>4,641</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	14,994	37,998
自己株式の取得による支出	178,807	
その他	9,000	7,250
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>184,801</b>	<b>30,747</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,335	4,398
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	21,673	154,787
現金及び現金同等物の期首残高	979,104	1,105,226
現金及び現金同等物の四半期末残高	957,430	950,439

## 【注記事項】

(追加情報)

(会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により経済の先行き不透明感が高まっていますが、当社の売上は、安定した完全サブスクリプションモデル(完全ストック型ビジネス)を主としており、引き続き解約率の低い月額課金案件の受注獲得を推し進めているため、現時点で繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りに重要な影響を及ぼす事象は生じていないと判断しております。なお、新型コロナウイルス感染症の広がりや収束時期等の見積りには不確実性が高いため、実際の結果はこれらの見積りと異なる場合があります。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
給料手当	96,279千円	186,540千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
現金及び預金	957,430千円	950,439千円
預入期間が3か月を超える定期預金	千円	千円
現金及び現金同等物	957,430千円	950,439千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

(3) 株主資本の著しい変動

当社は、2019年1月22日開催の取締役会決議に基づき、自己株式50,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、単元未満株式の買取による取得も含めて自己株式が178,807千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が530,716千円となっております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

(3) 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、マネジメントサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額(円)	29.28	28.10
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	192,028	184,310
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	192,028	184,310
普通株式の期中平均株式数(株)	6,558,068	6,558,708
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額(円)	28.35	27.43
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	215,100	161,206
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前 連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

## 2 【その他】

該当事項はありません。



**第二部 【提出会社の保証会社等の情報】**

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年 8月13日

JIG-SAW株式会社  
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 安 藤 勇 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 前 川 伸 哉 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているJIG-SAW株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、JIG-SAW株式会社及び連結子会社の2020年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。